

TAKUの 我行我素



みんないつもありがとう！

さてそろそろ今年もいよいよ夏の到来です。でも何気に夏って四季のうち一番短いからね。短いっていうか過ぎ去ってしまうっていうか通りすぎて行ってしまいうっていうか。毎年毎年とってもとっても刹那なかんじ。だから思い出って言った場合、たいがい季節は夏でしょ？春の思い出とか秋の思い出とか冬の思い出ってのは、あるかもしれないけどなんかいまいちわかりづらいし。なんていうか、グッとこう切ないイメージが浮かびにくい気するんだよね。やっぱ夏の思い出ってのが一番しっくりくる。夏の終わりに花火とか観ながら、あ〜今年も夏が終わっちゃうんだなあ的な切なさにひたる。そゆかんじが結局夏の醍醐味でしょ？

だからみなさん今年の夏も、しっかりと心に残る素晴らしいシーンを胸に焼き付けようではありませんか。(^-^)-一緒にワクワクしよ。



ということでこの頃の俺はといえばですね。まあいつも通り、マイペースに面白おかしくやってるんですが… だって銀の仕事全然ないんだもん。(笑)俺の場合、去年の夏から個人的なバンド活動もしてないからさ。ライブあるわけでもないし、レコーディングあるわけでもないし。だもんでもっぱら地味に素振りの日々ですね。でもね、結局素振りが一番大事なのではないかと思うわけで。というのは、忙しくしてる時ってさ、次々くるシーンに追われてあんま成長できてないんだよね、消耗率が高いっていうか、充実はしてるけどアウトプットの連続ってかんじ。時間も足が生えてるくらいに走り去るし。だから腰を落ち着けてスキルを磨くとかはなかなかできないんですよ。んで今はさ、ベースとかさ、歌とかさ、センスとかさ、身体とかさ、とにかく、あれもこれもを腰落ち着けて磨いてるってわけです。現状維持はすなわち後退ですからね、やっぱ前進してないと。次会った時にびっくらこくなよみんな。(笑)



そいえばこの写真はね、先日のスチール撮影の時にジャックとアツシと撮ったんだ。めずらしいスリーショットでしょ？（笑）

この2人ももうかれこれ10年以上一緒にやってる。（ジャックに至っては20年になるか…）2人とも今ではもう銀のライブにはなくてはならない存在になってますよね。ジャックは世界で一番銀のギターをわかってるギタリストだし、アツシも世界で一番銀のドラムをわかってるドラマーだし。俺や翔さん嵐さんは銀がライフワークなの当たり前だし、それが当然なんですけど、この2人の素晴らしいミュージシャン達もきっと、もはや銀をライフワークとってくれてると思うんだ。一蓮托生ですねつまり。もうサポートプレイヤーの域はとっくに越えて第4・第5の銀蠅になってる。

この頃ね、さっきの話じゃないけれど色々なことをあらためて考えてるんだけど、たとえば、バンドとは？とか銀蠅とは？とかの基本的なこと、それにももちろん今後の展開についてもさ。今病気と戦ってるキャロルのジョニーさんじゃないけど、まだまだやりたいことたくさんあるからね。これからもこの5人で頑張っていきます。みんな夜狼獅琥ね。

TAKU